

平成30年度山形県福祉教育・ボランティア研究協議会開催のお知らせ

山形県福祉教育・ボランティア研究協議会実行委員会委員長
山形県南陽市立宮内小学校長 淀野秀樹

1 開催趣旨

全国的にも、少子高齢化や人口減少など、地域社会を取り巻く環境が大きく変わるなか、小中学校の教育においても、**未来を生きぬくたくましい子どもの育成**がより強く求められています。

さらに、新学習指導要領では小中学生も含め、市民の誰もがよりよい社会を創造するために、地域とより密着しながら、社会参画のできる諸条件の整備が望まれています。そういった中で、南陽市社会福祉協議会では18年前から福祉教育の一環として、小学生ボランティアの育成に着手し、市内3カ所に展開。福祉教育の基礎づくりに継続的に取り組み実績をあげています。

現在は、南陽市立宮内小学校をはじめ、市内小中学校にボランティアクラブが設置され、学びながら、積極的に地域に出て、幼児施設や福祉施設の訪問等、体験的な活動を行っています。

特に、小学生ボランティア「ぼらんていあひろば ぴよっこ宮内」は、施設の訪問活動に加えて、地域の朝市などで福祉支援品や野菜などの委託品の販売を通して、善意銀行の活動に協力する等、住民福祉の向上に協力しながら活動に取り組んでいます。また、当日の実践交流会での発表では、**山形県立天童高等学校**の被災地支援活動（宮城研塩電市寒風沢島等訪問）を通じた貴重な取り組みについてもご発表を頂く予定です。これからの福祉教育は、自分たちの未来の地域をより展望できるように、子ども達の手で、ゆっくりと主体的に活動できるように、価値ある実践・研究が求められます。この度の南陽市立宮内小学校公開研究発表会の開催とともに、福祉教育を推進する現場から、ともに広がる可能性について、パネルディスカッションの場で、ご参会の皆様との相互交流と研究・協議をお願いしたいと存じます。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

福祉教育研究主題 未来を生きぬくたくましい子どもの育成を目指して

～自ら**考え**、ともに**学び**、新たな**めあて**につながる**活動**を目指して～

- 2主催 山形県福祉教育・ボランティア研究協議会実行委員会
3共催 山形県南陽市立宮内小学校
4後援 山形県社会福祉協議会 / 南陽市社会福祉協議会
5協力 南陽市社会福祉協議会宮内支部
6期日 **平成30年10月26日（金曜日）**
7会場 南陽市立宮内小学校（所在地：山形県南陽市宮内3415番地）
熊野大社證誠殿「银杏の間」（校門正面）

道113号 南陽市宮内 熊野大社前/JR東日本 山形新幹線 赤湯駅乗り換え フラワー長井線 宮内駅下車徒歩10分

- 8対象 社会福祉協議会職員、社会教育関係者、公民館関係者、学校教育関係者、関係行政福祉教育関係者、ボランティア、一般市民 等 約70名

受付	開会行事 全体会	児童 発表	移動	公開授業	移動	事後研究会	昼食 (含移動)	地域総合型教育 実践交流会	移動	全体指導 記念講話	閉会 行事
昇降口	体育館	⑮	⑮	各教室等	⑮	各教室等	体育館	体育館・会議室・音楽室他	⑮	体育館	
8:30- 8:55	9:00-9:40 研究発表 (40)	合唱 演舞		10:10-10:55 8授業 (45)		11:10-12:40 8分科会 (90)	12:40 -13:30 (50)	13:30-15:00 パネルディスカッション (90)		15:15 -16:15 (60)	16:20 16:30 (10)

(公開授業等詳細案内は最終案内をご覧ください。以下のWEBページよりご覧頂けます。)

https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/event/prividedData/event_information_9378_1.pdf

9 第二回地域総合型教育実践交流会（13:30-15:00）

	分科会名	会場	提案実践内容（予定）	実践発表者（敬称略）	コーディネーター 総合司会	パネリスト （予定）
1	学力向上 幼稚園から中学校以上につながる学力の育成をどう図っていくか。 （小中一貫教育の推進）	本校 体育館	☆学力向上「鍾秀プラン」 ○宮内中学校区幼保小中一貫教育について ○異学年交流での学びを中核とした実践	南陽市立宮内小学校教諭 井上克己 南陽市立宮内中学校教諭 須貝紀世美	南陽市立 荻小学校教頭 佐野浩士氏	東北文教大学教授 山口常夫氏 山辺町立相模小学校教諭 吉田貴広氏 他
この交流会では、山形県福祉教育・ボランティア研究協議会を併せて開催いたします。						
2	福祉教育 福祉教育で子どもたちの思いやりをどう育てていくか （ボランティア教育の推進）	熊野大社 證誠殿 銀杏の間	☆ぼらんていあひろば びよっことの コラボ から ○被災地支援のボランティア活動の取り組み	南陽市立宮内小学校教諭 金子達 山形県立天童高校教諭 鈴木優子	米沢市立 万世小学校教頭 芳賀由加里氏	山形県立高畠高等学校長 奥山留美子氏 山形県社会福祉協議会 地域福祉部長 植木憲司氏 他
3	ICT教育 ICT教育をいかに日常教育活動に繋げるか。 （ICT教育の未来）	本校 P C ルーム	☆ICT教育環境整備 ○プログラミング教育 ○特別支援でのICT活用@ MIYAGI Style とは	南陽市立宮内小学校 ICTチーム 宮城県教育庁教育企画室 山下学	南陽市立 沖郷中学校長 大友信昭氏	宮城県教育庁教育企画室主幹 山下学氏 NEC パーソナルコンピュータ 長谷部直樹氏 他
4	社会学融合 自治的教育活動と地域振興をどう連携・連動・一体化するか。 （ふるさとを愛する子どもの育成）	本校1F 会議室	☆社会参画活動の展開 ○ふるさとへの絆 ～宮内愛と鍾秀魂～ ○自主自立・地域に発信 赤中生！	南陽市立宮内小学校教諭 加藤直人 南陽市立赤湯中学校教諭 早坂憲明	南陽市立 沖郷小学校長 八島浩行氏	南陽市教育委員会社会教育課長 佐藤賢一氏 春まちカフェオーナー 横山直幸氏 他

※「第2交流会 福祉教育」に福祉関係者の方々の多数のご参加をお待ちしております。

10 全体指導・記念講話 15:15 - 16:15 (60)

新しい学習指導要領の方向性と地域総合型教育における展望

～ 幼保小中一貫教育の推進とその課題について ～

上越教育大学教職大学院教授 木村吉彦氏

11 参加の申し込み E-mail : p-miyasyo@movie.ocn.ne.jp 公開研究会係 宛

所属・氏名を明記し、返信にて、要項・申込書を送信いたします。また、できましたら、参加者の所属毎にお取りまとめ頂き、お申し込みをお願いいたします。（分科会は参加無料！昼食代は別途申込みとなります。）

12 お問い合わせ TEL 0238-47-2106 南陽市立宮内小学校 教頭 渡邊 聡
FAX 0238-47-2640 p-miyasyo@movie.ocn.ne.jp

